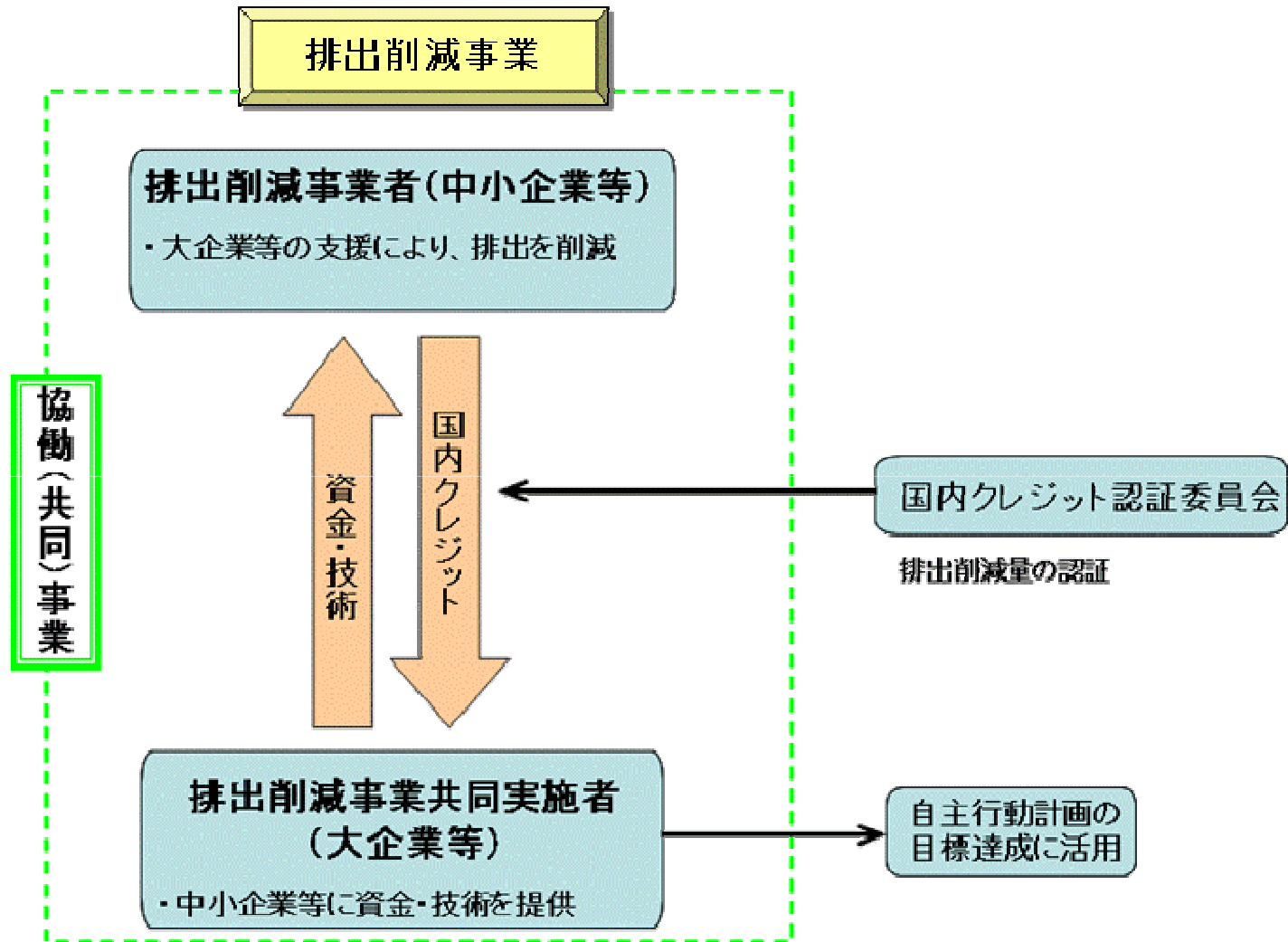


国内クレジットアイデア事例集  
100選

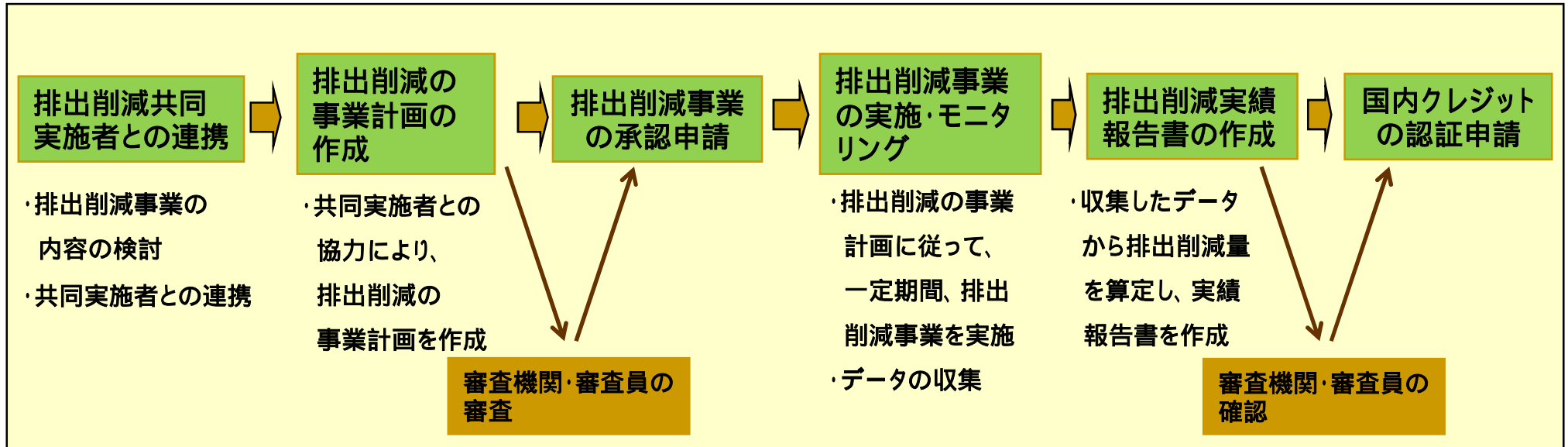
平成20年10月21日

# 国内クレジット制度の概要



中小企業のみならず、農林部門(森林バイオマス)、業務・民生部門等においても排出削減に貢献。  
例)化石燃料から木質バイオマスへの燃料転換(農林業)

# 排出削減事業の手続



# 予算による支援措置

## 「排出削減事業計画」策定の支援及び審査費用の一部支援(ソフト支援)

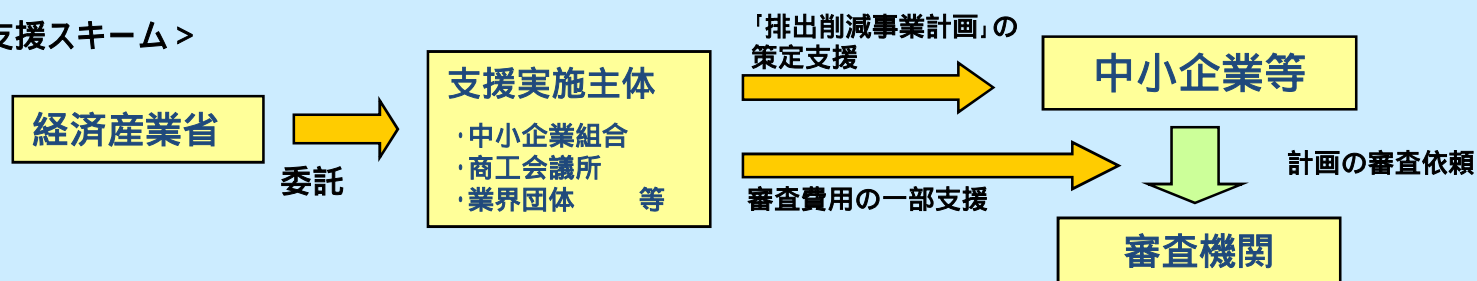
### 「中小企業等の実施する排出削減対策支援事業」【21年度要求額:20億円の内数(新規)】

「京都議定書制度運営事業」(20億円)の一事業として実施。なお、20年度補正予算で約5億円分を計上。

#### <事業概要>

国内クレジット制度の活用が期待される中小企業を対象に、「排出削減事業計画」の策定支援及び同計画の審査費用の一部支援のソフト支援を行う。本事業を通じて、1,500の中小企業を支援予定。

#### <支援スキーム>



## 排出削減設備導入に対する支援(ハード支援)

### 「温室効果ガス排出削減支援事業」【21年度要求額:10億円(20年度予算額:6.7億円)】

先進的な排出削減設備を導入する中小企業を対象に、当該設備の導入に伴う排出削減にかかるデータ(排出量の算定方法、稼働状況等)の提供を条件に、設備導入に必要な費用の1/2を補助。

### 「エネルギー使用合理化事業者支援事業」【21年度要求額:約400億円(20年度予算額:約300億円)】

\*20年度補正予算として60億円を計上。

省エネルギー効果が高く、費用対効果が優れていると認められるものに係る設備導入に必要な費用の1/3を補助。

### 「新エネルギー等事業者支援対策事業」【21年度要求額:約400億円の内数(20年度予算額:約378億円の内数)】

民間事業者等が実施する新エネルギー等設備導入に必要な費用の1/3を補助。

## 国内クレジットアイデア事例集100選

	想定される適用場所	項目	項数
産業部門	・工場における事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱源機器の更新(ボイラーの更新等)</li> <li>・エネルギーの転換(バイオマスの利用等)</li> <li>・高効率エネルギー消費機器の導入(空調、照明等)</li> <li>・運用改善(廃熱利用、機器制御等)</li> </ul>	5 ~ 32
農林水産部門	・農業施設における事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスの活用(ペレット等)</li> <li>・エネルギー転換(木質バイオマスを除く)</li> <li>・高効率エネルギー消費機器の導入(農業機械)</li> </ul>	33 ~ 42
運輸部門	・自家用輸送等における事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の改善(電気自動車等)</li> <li>・高効率エネルギー消費機器の導入(低燃費タイヤ)</li> <li>・運用改善(運行支援ソリューション等)</li> </ul>	43 ~ 51
業務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィスビル等における事例</li> <li>・商店街等における事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率エネルギー消費機器の導入(熱源機器、空調、照明、IT機器等)</li> <li>・エネルギー転換(太陽熱等)</li> <li>・運用改善その他(エネルギー管理システムの導入等)</li> </ul>	52 ~ 103
家庭部門	・家庭における事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率エネルギー消費機器の導入(省エネ製品)</li> <li>・エネルギー転換(燃料電池等)</li> </ul>	104 ~ 111
公共部門	・公共施設における事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却場の排出削減(補助燃料の削減等)</li> <li>・下水処理場の排出削減(バイオガス発電等)</li> </ul>	112 ~ 117

\* 本資料はアイデア集であり、現実の国内クレジット制度において実際に適用可能な技術やその排出削減量の具体的な算定方法は実際の排出削減方法論に従います。